寺崎組新聞

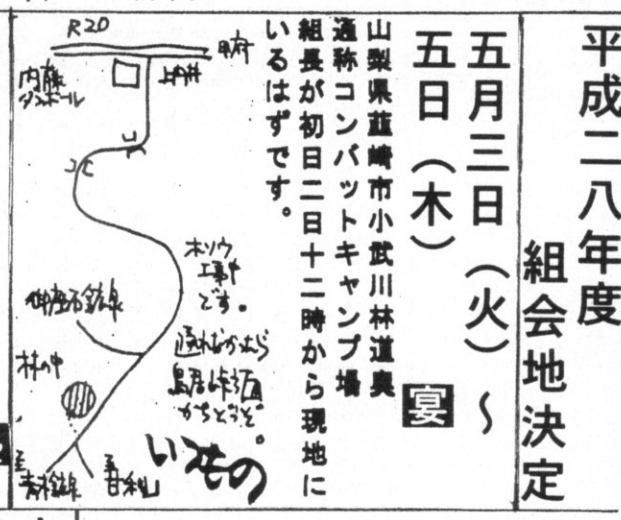
第百二十五号

発行所　寺崎組新聞社

平成二八年度 組会地決定

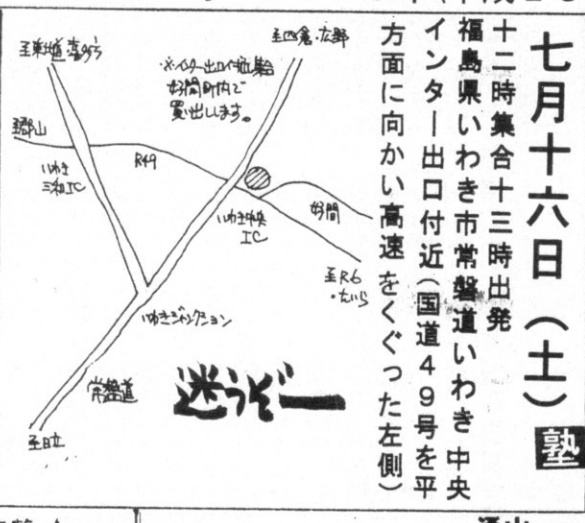
五月三日（火）～五日（木） 宴

山梨県韮崎市小武川林道奥
通称コンバットキャンプ場
組長が初日二日十二時から現地にいるはずです。



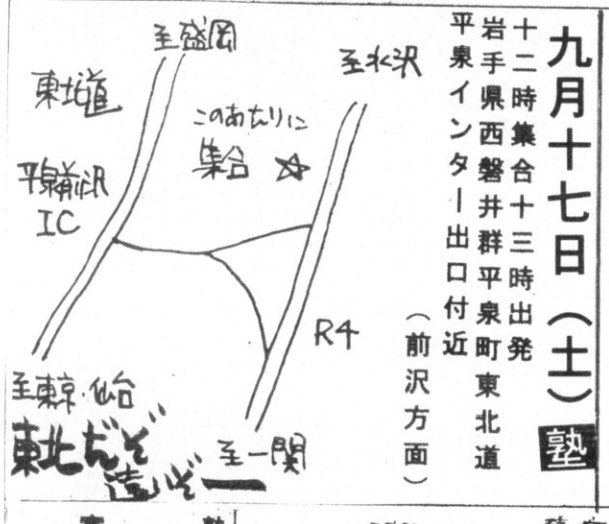
七月十六日（土） 塾

十二時集合十三時出発
福島県いわき市常磐道いわき中央インター出口付近（国道４９号を平方面に向かい高速をくぐった左側）



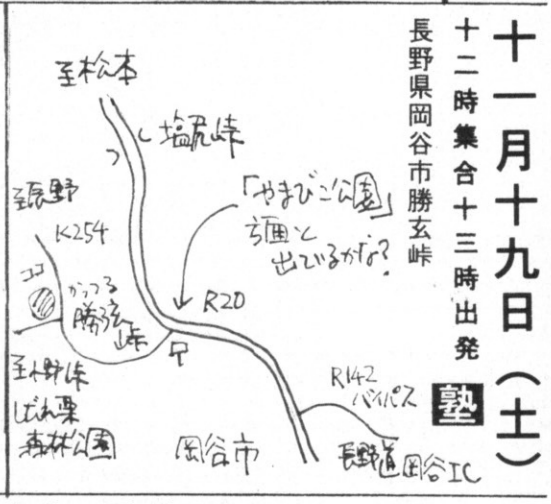
九月十七日（土） 塾

十二時集合十三時出発
岩手県西磐井群平泉町東北道平泉インター出口付近（前沢方面）



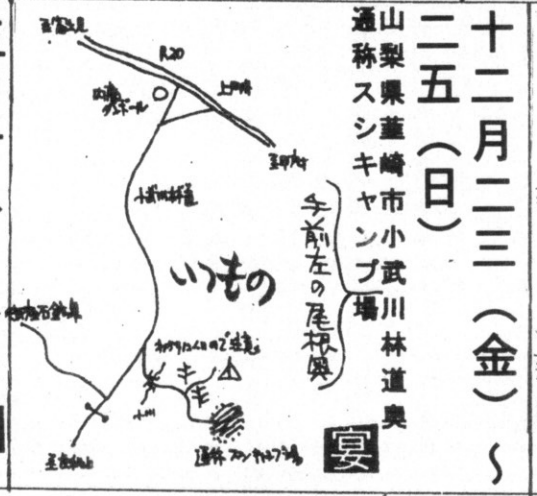
十一月十九日（土） 塾

十二時集合十三時出発
長野県岡谷市勝玄峠



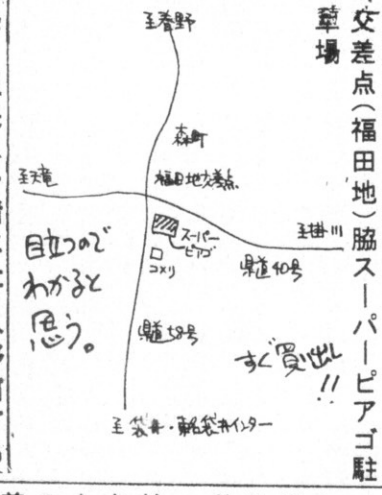
十二月二三（金）～二五（日） 宴

山梨県韮崎市小武川林道奥
通称スシキャンプ場



三月十八日（土） 塾

十二時集合十三時出発
静岡県森町県道４０号と５８号との交差点（福田地）脇スーパーピアゴ駐車場



塾　組長と一緒に走り、野宿する
酒・食料持参
参加費　一人　五〇〇〇円
宴　ただの野宿宴会。
酒・食料持参
参加費　一人　三〇〇〇円

※重要なお知らせ

新聞配布のＰＤＦ化について

来年度より新聞の配布を基本的にＰＤＦファイルによる方法に変更します。具体的には寺崎組ホームページにアップされたファイルを、各自ダウンロードして、必要に応じて印刷してもらうようになります。
今後も紙の新聞の郵送を希望する人は、今回新聞と一緒に送る用紙に必要事項を記入し、ハガキに貼って送ってください。
郵送希望の連絡がない場合は、今後は新聞を郵送しませんので、よろしくお願いします。

山間の部落の全日食チェーン、総菜の品揃え悔りが足しー！

１６１回組会報告

十一月二十一日（土）晴　一日目
十一時二十分茨城県常陸太田市（旧里美村）道の駅さとみに到着。小さな道の駅で、三連休の初日とあって行楽客の車で駐車場が満杯（しかも駐車場内にて事故）。仕方なく道路脇の歩道に駐車し組長、組員を待つ。十一時四十五分ゴミ浦さん到着。前回、リアタイヤの山が無くなったので交換したそうだが、六年間放置されていたタイヤだった為、あちらこちらにひび割れがあり、しかもゴムが劣化して固い。公道不向きのタイヤである。次に地下鉄さん到着。前回リアフェンダーが無く、まともに背中に泥を被った為、今回リアフェンダーを装着してきたが、なんか変。ネットオークションにてＤＩＯのリアフェンダーを購入して装着して来たらしいが、角度及び長さが変（組長にも改良を進められる）。無いよりはいいらしい。次にオガタさんはるばる山梨より参戦（毎回遠くまで来て頂き、頭が下がる思いです）。早朝出たらしいが、所々渋滞に巻き込まれて大変だったらしい。十二時を過ぎる。組長が来ない。憶測が飛ぶ。「病気が再発か？」「事故に遭ったか？」不安がよぎる。十二時三十分ＣＲＭ８０で宮下さん到着。出発に手間取りしかも途中で２ストオイルが少なくなり補充して来たらしい。間に合うかどうか不安だったらしい（安心してください、組長まだですから！）。とうとう時計が十三時を回る。「組長大丈夫か？」と組員の不安のピークをよそに真打登場。一同安堵。どうやら軽トラを駐車する場所を確保するのに手間取ったらしい。昼食を躊躇で手早く済ませる組長。組員たちは出発の準備に入る。

定刻より三十分遅れで塾開始。今回の塾は、組長（ＤＲ）、ゴミ浦さん（ＤＲ）、地下鉄さん（ＷＲ２５０Ｒ）、オガタさん（ジェベル）、宮下さん（ＣＲＭ８０）、三倉（ＸＲ２５０Ｒ）のこの六名。国道三百四十九号線を北上し「スーパーいしかわ」にて停止。組長、外から偵察。「ここは無い」とのアクションにて次の店へ。数分で「全日食チェーンてらしま店」へ到着。組長は以前ここで買い物をしたらしく気に入っている様子。店の中に入ると納得。思った以上の充実な品揃え。残念だったのは日本酒の四合瓶が一種類しかなかった事か。買い出しを済ませ来た道を戻る。折橋の交差点を左折し国道四百六十一号線へ入る。しばらく東進し右折する。横川林道へ入る。ちょっと走り丁字路を右折ちょい荒れ林道を上ると行き止まり。来た道を戻り丁字路を右折し本線へ。走りやすいダートの先にはチェーンゲートが行く手を阻む。横から失敬して山を登る。倒木が頭をかすめ、崩れた岩が転がる林道を走り抜けると本日の野宿地に到着。本日走行距離２２・７km。

まだ十四時五十五分、初冬なので早めの野宿地選定である。各々テントを張り、薪を集め、準備が出来て十五時四十分。宴の始まりである。早速、出来合の物が回り、それだけで腹が膨れる。組長が初持ち込みのストーブを披露。「原始人や縄文人よりはいいだろう。」と言うことで「室町ストーブ」呼ばれる事となるが、プレヒートの火は焚火より大きく暖かった。十七時前には辺りが暗くなり明かりが必要となったので焚火に着火。おぼろ月夜がきれいである。組長のラジオからは大相撲中継。「日馬富士の援護射撃だ！」と白鵬が敗れたのを皆で喜ぶ。宮下さんが本日の遅れの責任を感じ、「明日帰ります。」との発言。組長「明日、パッキングの仕方を教えるから。」組員「気にするな」と諭す。（両者とも思いやる気持ちに感動）。十八時半、宴会開始が早かったせいか組長御就寝。後は酔っ払いの延長戦。

十一月月二十二日（日）曇り　二日目
放射冷却が無かったせいか、十一月とは思えない暖かい朝である。各自朝飯を取り終わり朝の儀式へ。三百六十度どこでも出来そうな場所である。組長が宮下さんのＣＲＭを試走する。古い割りには悪くないそうである。各自撤収準備をしていると地鳴りが。次の瞬間、地面が動き木々がざわめく。八時二十分、地震である。かなり大きく感じたが、携帯電波が圏外の為、詳細は分からず（後に知ったが震度４だったらしい）。出発前の行事、集合写真をＣＲＭを囲んで撮り終え、八時四十分、野宿地を後にする。

昨日登って来た林道を下りゲートを出てちょこっと走ると昼飯用の水確保の為停車。ここでゴミ浦さんとはお別れ。本日「熊木杏里」のコンサートへ行くためらしいが、「熊木杏里」って誰？。水を汲み終り林道を下り国道四百六十一号線に出る。宮下さんも帰宅を決意しここにてお別れとなる。残り４名となった我々は国道四百六十一号線を東進する。数キロ走り高萩市に入り左折して林道へ。ここから先の記憶が定かではなくなったので憶測すると、林道を出てから県道二百二十七号線を通り県道二十二号線を抜け県道百十一号線へ入ったと思われる。記憶にある光景になる。昔、組会で通った道である。北上し、大金田林道入り口にて十時の休憩を取る。ここにもチェーンゲートがあり脇には大きな石でブロックされている。どうにか通れないかとチェーンを担ぎ上げバイクが通れるか検討するが諦める。しかし、この地域はやたらとチェーンゲートでブロックされている。悪いことする輩が多いのだろう。使用されている鍵も特殊で組長も悩んでいた。しばしの休憩も終わり少し北上し、七ツ滝柳沢林道へ右折。紅葉し終わった葉が道を敷き詰められ、下の状況が分からず走行。杉林の中に入ると「栄蔵室」の看板の方へ左折。チェーンゲートの脇を失敬し遊歩道みたいな道を下り左折。ここからもまた記憶が飛ぶほどあちこち走る。停車したのはまたもやチェーンゲートの前。組長の記憶だと以前繋がっていなかった林道らしく、下界には民家があった。組長、地図を眺め「ここは大平地区と思うんだけど」と悩む。結局、チェーンゲートの脇を失敬し民家脇を通過すると、県道二十七号線へ出た。右折し東進する。十一時半前に亀谷地湿原に到着し早めの昼食となる。ここには四阿があり、中のテーブルで食事をすることになったが、テーブルが高く、料理中は立ったままとなった。その際中、観光客と思われる一団が来襲。一応観光地（今は冬なので湿原には何も咲いていないが、紅葉木はある）なので仕方ないと言えば仕方ない。少し気まずい思いをしながら食事を続行。十二時過ぎ、出発前、少し肌寒くなりオガタさんが目出し帽を装着。それを見た組長「ＩＳだ！通報されるぞ！」と一言。タイムリーな時事ネタが飛ぶ。再びバイクに跨り東進すると、先程の集団が。「どっから歩いて来ているんだ、この山奥まで。」と皆、思っていたらしい。その集団をやり過ごしすぐに左折し、弥太郎林道へ突入する。とうとう福島県（いわき市）に戻ってきてしまった。ちょい荒れた林道をしばらく下り左折。藤ノ木沢林道へ入る。間伐の最中なのか、道が重機で固められ、傍らには林業で使用される重機が停車していた。峠を越え下り橋を渡り右折。舗装路に出ると、紅葉がピークであるため、見物客が多数。その脇をそそくさと走り抜け右折。目兼横川林道へ入る。重機に押された林道をちょいと進み左折。仏具山林道を上る。先日まで通行止めだったため、路面は荒れている。頂上脇に到着し休憩。ここは以前、組会で野宿したところでもある。頂上には先客のライダー達がいたので、組長は登頂断念。自分はそのライダーがいなくなった後、登頂。景色が良く、いわき市南部が見渡せる。しばしの休憩も終わり山を下る。舗装になっ